再質問の方式
1　一括質問一括答弁方式 ②　一問一答方式

小平市議会定例会一般質問通告書

質問件名　安心して暮らすための下水道の維持管理と雨水対策について

質問要旨　（初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください）

小平市では小平市第二次下水道プランや小平市下水道ストックマネジメント実施方針を策定し、下水道の老朽化対策や維持管理を行っています。管きょの老朽化をはじめ資材やエネルギー費用、人件費の高騰が進む中、今後どう取り組んでいくのか、下水道使用料の改定をふくめ難しい判断が迫られているところです。国はその解決策として下水道分野における水の官民連携（ウォーターPPP）ガイドラインを作成し推進しようとしていますが、生活者ネットワークは、国が進めるコンセッション方式の導入を目的とする下水道の民営化には反対しており、小平市には持続可能で安定した市民のための下水道事業を行っていただきたいと考えています。

また、小平市の下水道管は 1 時間に 50 ミリメートルの雨に対応するようになっていますが、2023 年 12 月改定の東京都豪雨対策基本方針では 75 ミリメートルの雨に対応していくことになっています。現在の管きょだけでは対応できない差分の 25 ミリメートル分をどう処理するのか、安心して暮らすために以下、質問します。

1，市は下水道事業のうち、いくつかの業務を公益財団法人東京都都市づくり公社に委託しています。具体的にどのような業務を委託しているかお示しください。また、市が直接行うことなど役割の分担についてもお示しください。

2，国が示す下水道分野における水の官民連携（ウォーターPPP）は、導入するのかしないのかも含めて、慎重な判断が必要です。東京都や他市の意見、動向の把握状況などを含めた検討の進捗状況をお示しください。

3，大雨による浸水被害予想を示した、小平市ハザードマップ（浸水予想（想定）区域図、土砂災害警戒区域図）は東京都が実施したシミュレーションの結果をもとにつくられています。市民が被害予想をより身近に感じ、自分事として捉えられるよう、市が独自でシミュレーションして作成することについて、お考えをお示しください。

4，下水道管への雨水流入のピークカットを考える必要がありますが、ご見解をお示しください。

5，雨水浸透、雨水貯留、雨水利用の必要性をどのように把握されているか、伺います。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

2026 年 11 月 12 日　小平市議会議長　殿　　小平市議会議員　氏名　さとう　悦子

受付番号【　　】

26	25	24	23

－（　　／　　）